



MINATO

# みなとユネスコ 会報

# Bulletin

MINATO UNESCO ASSOCIATION NEWS & CALENDAR

ISSUED BY/MINATO UNESCO ASSN. 16-3, SHIMBASHI 3-CHOME MINATO-KU TOKYO 105-0004/HIROSHI NAGANO PRES.  
発行所/港ユネスコ協会 〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 Tel: 03-3434-2300 Fax: 03-3434-2233 発行人/田部操一郎  
Mail: m-info@minatounesco.jp https://minato-unesco.jp

2022年9月1日発行 第169号

## 目次

P. 1 巻頭言	P. 8 避難民への支援バザー
P. 2 港区役所訪問	P. 9 委員会名簿/MUA 英会話サロン
P. 3 「ゆかた着付け」実演と体験	P. 10-11 江戸城と東京の近代建築にみる「石文化」
P. 4-5 世界経済の動向と暮らしへの影響&対応策	P. 12 事務局便り
P. 6-7 国際理解講演会「はやぶさの旅路と教訓」	

## 愛しき映画のこと

米田嘉明 (港ユネスコ協会会員・グラフィックデザイナー)



映画愛について語ることは、無防備な己を露呈さすようでちょっと恥ずかしくもあるのですが、以下思いつくままに。幼少時から映画はいつも私のそばに在った。ですから 私の体は見続けて来た数え切れない本数の映画なるもので作られて来たように思える程です。と云うわけで、ある日ある時の極私的愛した映画リスト5について。

1. おとうと、2. 大いなる西部、3. 2001年宇宙の旅、4. めまい、5. 血とバラ。1は、市川崑のフェルメールの絵のような滋味深き映像に。2は、W・ワイラー、西部なるものの制度や慣習に東部の知性が対峙するアメリカの近代史かと。G・ペックとC・ヘストンの決闘シーンが秀逸。3は、S・キューブリックの宇宙ものの金字塔。半世紀以上過ぎてもこれ以上のものなしが通説。4は、ヒッチコックの透明感ある風景の美しさと、嗚呼～キム・ノヴァク！です。そして5は、R・ヴァディムのシュールな美学炸裂ヴァンパイアもの。こんな吸血鬼映画に心奪われることは、ユネスコ憲章の何かに抵触しないかと心を痛める。しかし、J・ジャームッシュの「Only Lovers Left Alive」により、あの人達がガリレオ、コペルニクス、ニュートン、ダーウィン達科学者をとても尊敬していることを知り、そうか そうかと嬉しくなる。(ちょっと変か?)

そして2本の映画について。その1「イージーライダー」。私はいわゆるヒッピーではなかったけれど、無邪気にその映画のようなことをやりたくて、速やかに二輪免許を取得、バイクとテントを購入し、そのまま2ヶ月間となった日本一周の旅に。運転技術の未熟さ故、あっちこちでよく転び、傷だらけになりながらも気分はピーター・フォンダ。旅の途中、小樽の地で会った高校生は、数十年後、芸術系大学で教鞭をとる人になり、近年逝去するまで変わらぬ友情を共有することになった。

その2「過去をもつ愛情」。ポルトガル・リスボンが舞台のなんだかややこしい男と女のお話。そこでアマリア・ロドリゲスが唄うファドなるポルトガル歌謡にうっとり。あの地へ行ってそれを直に聞きたいと、行き着いたポルトガルは、ファドよりも街々の美しさとポルトガル語そのものの響きに魅了される。帰国後、早々にP語が学べる然るべき所へ。それから数年後、P語を喋るブラジルの方々が多く住んでると云う群馬県大泉町なる所で、日系の諸君に日本語を教えると云う誘いにうっかり乗ってしまい、思わぬ展開に。あの映画を見ていなければ今も留まっているこの地に私はいない。(P.2へ続く)

## 港区長と教育長を訪問

月日：2022年5月31日（火）

この度の当協会における役員交代に伴い、5月31日、武井雅昭港区長、浦田幹男教育長を、永野博前会長、田部揆一郎会長、森村俊介副会長、今村孝子副会長、峰尾茂克副会長、新福彰二事務局長が訪問し、港区教育委員会からの日頃のご支援に謝意を表するとともに、港区におけるユネスコ活動における意見交換を行いました。

特に、ユネスコにおける「世界の記憶」事業に芝増上寺の所蔵する浄土宗大本山増上寺三大蔵（『菩提行経』）の登録が申請中であり、2023年のユネスコ執行委員会において登録の可否が審議される予定であることから、港区におけるユネスコ活動の活性化方策が話題となりました。



武井雅昭区長と対談



浦田幹男教育長と対談

（事務局長 新福彰二）

---

### （P.1 巻頭言「愛しき映画のこと」からのつづき）

ps. 中学生の私の柔らかいハートを舞い上がらせたフレッド・アステアの「バンドワゴン」、京都の薄汚れた小さな小屋で見た「赤い靴」、高峰秀子の表情が心に染みます、成瀬巳喜男の「浮雲」、そして鈴木清順のこと、アニメ「ローゼン・メイデン」で知った宝野アリカ嬢のこと等、あと百本少々については、語る時間がございません。映画に導かれて～、と云う拙き話です。会員の皆さま方、今後ともよろしく。

日本の伝統文化「ゆかた着付け」実演と体験  
講師：高橋優子（ハクビ京都きもの学院 銀座校 院長兼校長）

日時：2022年6月4日(日) 13:30～16:00  
会場：港区立生涯学習センター203号室

内容：

1. ゆかたの歴史の説明
2. 講師によるデモンストレーション
3. 着付けの練習を2回
4. ゆかたを着ての座礼、立礼、美しい歩き方の練習
5. ゆかたのたたみ方

ひとこと：

さすがに全員が色鮮やかな浴衣を着て並ぶと美しさが際立ち、日本人として誇らしく思います。

参加者15名のうち、6名が外国人でした。ハクビ京都きもの学院の高橋優子先生やアシスタントの先生方の丁寧なご指導のもと、帯の結び方のコツをわかりやすく教えてもらい、参加者の皆様には大変好評でした。皆さん、熱心に日本の文化に触れ合い、充実した時間を過ごしました。

今回 参加なさった方々は どのような場面で浴衣をお召しになるのでしょうか。浴衣を着た時の立ち居振る舞いの指導を思い出し、素敵な時を素敵な人と過ごしていただきたいと思います。

☆浴衣クリーニング協力：株式会社 アルト 足立工場 様



(常任理事 田川純子)

## みなと UNESCO サロン 『世界経済の動向と暮らしへの影響&対応策』を拝聴して

月日：6月2日（木）

場所：港区立生涯学習センター



今、世界の軍事費は年間年間2兆ドル（1ドル134円で約268兆円）超ともいわれている。国防という視点から考えた場合、世界情勢が混沌とすれば、今後日本だけではなく諸外国の防衛費や軍事費はさらに上昇する可能性は否定できない。この「お金」は果たしてどこから出てくるのであろうか？我々一人一人は、自問自答する必要があると思う。

ユネスコ憲章の中に「戦争は心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という有名な文言がある。今後我々一人一人がこの言葉を忠実に守れば、世界で戦争や紛争もなくなり、平和をもたらすだけでなく、結果的に防衛費や軍事費の削減につながる可能性が高いと個人的には考える。つまり、世界中の人々が皆仲良くすることができれば、我々の生活にも良い影響を与えるのだ。このような意味でも港ユネスコ協会の活動は非常に意義があると自負する。

今回私が拝聴したのは、6月2日（木）に港ユネスコ協会が主催した『みなと UNESCO サロン』の講演である。近年、港ユネスコ協会では、様々なジャンルの著名な方々をお招きし、講演を行っている。

今回の講演者は元 TBS テレビ報道局記者で、報道番組部長、ロンドン支局長などを歴任し、現在、一般社団法人くらしの資産設計支援機構代表理事を務め、NPO 法人日本 FP 協会認定 CFP、社会福祉士など多数の資格をお持ちになる福本芳朗講師。

テーマは『～元国際記者/FP が語る世界経済の動向と暮らしの影響&対応策』であった。

実は私も今期から NPO 法人日本 FP 協会の評議員を務める現役のファイナンシャルプランナーであることもあり、今回の福本講師の講演は非常に楽しみであった。

当日はコロナ対策で人数制限はしていたものの、満員御礼で開催された会場は熱気に包まれていた。冒頭、田部港ユネスコ協会会長の挨拶から始まり、福本講師の話が始まると、皆真剣そのもの。セミナーの内容は1) 世界経済の動向、2) 暮らしへの影響、3) 対応策という順番であったが、約2時間の講演はあっという間に終了した。

具体的な当日の講演の内容は下記のとおりであった。

### 1) 世界経済の動向について

国際情勢を左右するポイントとして、●ウクライナ情勢●コロナの今後の展開●経済政策等について福本講師の TBS テレビ時代のエピソード等も交えながらわかりやすく解説して下さった。国際情勢の変遷については、過去の歴史を冷戦時代から米一強、新冷戦時代の可能性までわかりやすく解説。世界経済の動向については、消費の回復から今後の高インフレの可能性、利上げによる混乱や中国経済の鈍化の可能性に至るまでわかりやすく解説いただいた。個人的には、アメリカの高インフレによる金融引き締めが加速する（利上げ等）ことや、中国経済の様々な減速要因に基づく世界経済へ及ぼす影響などが非常に勉強になった。



### 2) 暮らしへの影響について

世界経済の動向の説明を終えた後、日本経済に言及。2022年政府・金融機関・シンクタンクの子測から始まり、株式の投資環境、債券の投資環境、不動産の投資環境、政府の基本政策など福本講師の視点でわかりやすく解説して下さった。特に日本の最近の物価の上昇やエネルギー価格の上昇、コロナ等による家計の具体的な影響については非常に参考になった。

### 3) 対応策

最後に対応策として、福本講師がFP実務家ならではの様々な説明をしてくださいました。その内容は、新型コロナによる家計への影響やウクライナ情勢等の影響により、傷んだ家計を立て直すために必要な応急処置についてから始まり、支出の削減法や資産の増やし方についてであった。



具体的には、コロナの対応策として、国などが行う支援制度（生活を守る支援、雇用を守る支援、事業を守る支援）の説明。ダメージを受けた家計を再点検する方法。支出を減らすための対策（固定費の削減）として、住宅のダウンサイジング（住み替え）による固定費の減少。保険の見直しによる支出削減。車を手放すことによる支出削減。電力会社などの見直しによる光熱費の見直しなどによる支出削減の説明があった。

資産を増やす方法としては、長く働いた場合、預貯金等の残高の減少度がどのように具体的に変わるかという説明。高齢者雇用を後押しする法改正など。資産を増やす方法としては、分散投資の方法。年金受給額を増額する方法として、年金受給の繰下げのメリット・デメリットについて説明があり、最後にCF（キャッシュフロー）表による家計の見える化の説明があり終了した。

拍手喝采のもと講演は終了したが、講演を聞いた方々からの意見として、『FPの仕事って、こういう仕事なんだね。すごく大事だね。』という言葉を多数いただいた。人生イロイロ。家計もイロイロ。ただ世界経済は、一つにつながっていて、「平和の砦を築くこと」が結果的に我々の生活にも良い影響を与えるということを改めて実感した一日であった。

(副会長 峰尾茂克)

---

### (P. 7 国際理解講演会「はやぶさの旅路と教訓」からの続き)

#### 「未来の宇宙研究」

中学生の頃、呉で、ソ連の「スプートニクの光」を見ました。宇宙時代の幕開けです。その後はソ連とアメリカの競争でしたけれども、ソ連崩壊後、15の国が協力して国際宇宙ステーションを設置しています。日本も年間400億円を支払っています。高いという意見と日本の国際的地位の維持を考えれば安いという意見があります。



宇宙研究の第1期はアポロ計画がピークだったと思います。第2期はまだ途中です。人工衛星の成功率は日本が1番。世界一の気象衛星も持っています。いずれ宇宙へ行けるようになります。宇宙の歴史も分かってくると思います。宇宙には何でもあります。あらゆる現象が宇宙のもの。



(小惑星の衝突による人類の絶滅と言う問題もありますが) 環境破壊や核兵器、ウクライナの問題を見ても、異文化や文明の間に対話がなければ第3次世界大戦になり人類は消滅してしまいます。この地球を大切にしていきたい。

(国際学術文化委員会 山田祐子)

## 2022年度 第一回国際理解講演会 「はやぶさの旅路と教訓」

的川泰宣氏 宇宙航空研究開発機構 名誉教授

日時：2022年6月19日 14:00~16:00

会場：国際文化会館

主催：港ユネスコ協会 共催：港区教育委員会

冒頭、永野会長の開会の挨拶と講師の紹介がありました。的川講師は、日本の宇宙開発の父・糸川英夫博士の最後のお弟子さんであり、「はやぶさ」をテーマにした映画では、西田敏行が演じている方です。



### 「何故、小惑星の探査を思いついたのか」

1985年にハレー彗星の探査のため、研究者たちが鹿児島県の内之浦に集まりました。ロケットの発射基地であった内之浦は、伊能忠敬も陸からの測量を断念したほど辺鄙な所で、何もないので皆でお酒を飲みながら話をしました。そこで、理学部系の連中が、太陽系には火星と木星の間に（当時で）40万個の小惑星があり、それを調べれば昔のものを残している可能性がある、と言います。しかし、彼らは持ってきたものを分析することには興味があるが、取ってくることには興味がない。逆に、我々工学部系は分析には興味がないが、ロケットを打ち上げ、サンプルを採取する装置を作ることは好きです。両者は盛り上がり、一晩で「小惑星からのサンプルリターン計画」の話が持ち上がったのです。また、小惑星が地球にぶつかれば、人類は絶滅します。小惑星を研究するというこの意味はここにもあったのです。

### 「さまざまな難題」

宇宙開発委員会に「はやぶさ計画」を提出しましたが、世界で初めてのことが八つもあり、気が違ったかと相手にされませんでした。しかし、バブルが破綻した暗い世の中に、「無謀な」プロジェクトを実現させることには意義がある、として認めてもらいました。

課題は多く、三億キロメートルもの遠距離での操作は「よける」と指示しても時間差が40分もあり間に合いません。このことは「はやぶさ」自身が考えて行動する仕組みへと繋がります。次に「金がない」。必要な額の4分の1の予算しか貰えませんでした。その結果、大企業には頼めないで、中小の町工場を一軒一軒周り、安い所安い所を探しました。一例ですが、「はやぶさ」の着陸地点を誘導するターゲットマーカーの開発です。落としても重力の小さいイトカワで弾まず定着する必要がある。思いあぐねて飲み屋で議論をしていた時、横で飲んでいた人がそれを聞き、家からお手玉を持ってきました。お手玉の粒が中で衝突して余分なエネルギーがなくなるのです。その人は町工場の職人さんで、その人がターゲットマーカーを作りました。

あと半年で帰還の時、四つのエンジン全てが止まりました。不屈のプロジェクトマネージャーも初めて弱音を吐きました。ところが、イオンエンジン四つのうち、土で一つは-が生きていて別の一つは+だけ生きていました。それを繋げれば良いのですが、設計上は繋げていない…実はこっそり繋げていたのです。ルール違反ですが、それで助かりました。

### 「はやぶさ1の成功」

2010年6月13日オーストラリアにカプセルが着地し、回収しました。カプセルは耐熱ですが、本体はそうでないので、大気圏でバラバラになり消滅しました。それを見るのは悲しかったです。小さな1600粒のサンプルが回収できました。

NHKの番組で「成功の原因を一つの言葉で言うと」と聞かれた時「適度な貧乏」と答えました。大企業に任せると楽だが金がかかる。お金がないので、工場まで行きチームは現場を見ている。故障時など、企業に相談しなくても乗り越えるアイデアがどんどん出てきました。後で考えると、「未来への高い志」があれば貧乏でも乗り越えられる、と言うべきでした。

## 「はやぶさ2」

「はやぶさ2」の予算は、全面カットされました。しかし、政治家が「はやぶさ人気」を見て応援してくれたので予算が付きました。

2014年12月3日「はやぶさ2」は「リュウグウ」に向かいました。「はやぶさ1」の小惑星イトカワとは異なり、岩石だらけで（着地に自信のある）100mくらいの平地はなく着地点が見つかりませんでした。狭い場所に降りられるか不安でしたが、6mの場所への着地を10万回コンピューターシミュレーションで行いすべて成功したので、2019年2月22日第1回のタッチダウンを行い舞い上がった物を回収しました。

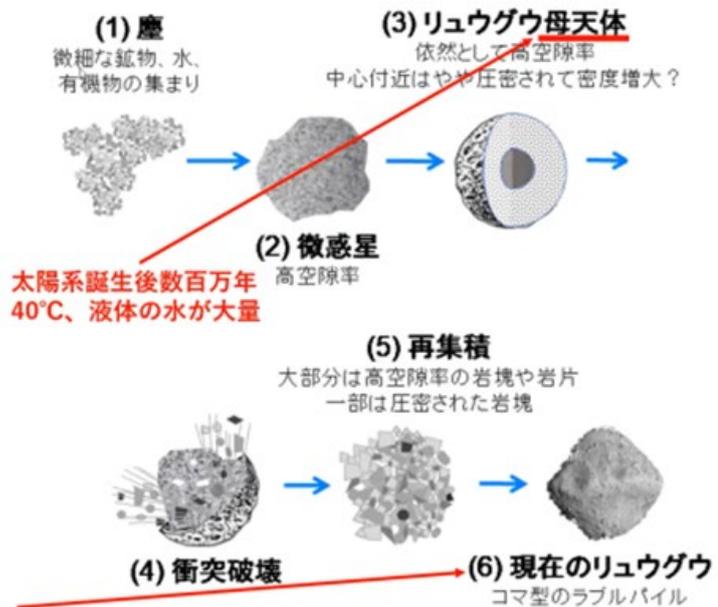
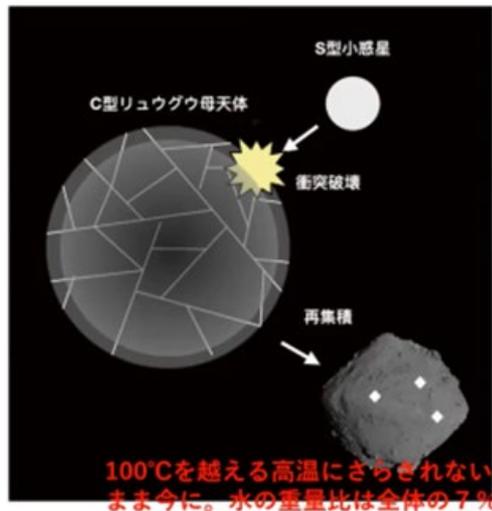
1回で帰ろうという意見もありましたが、4月5日に爆弾で人工のクレーターを造りました。内部は表面より変化していないので本当の古い物があります。クレーターを調査中、「はやぶさ」は落下を止め、勝手に再上昇しましたが、その後、適地を見つけ7月11日に再度のタッチダウンを行い、サンプル採取をしました。

2020年12月6日オーストラリアの狙った場所にカプセルは到着し、「はやぶさ本体」は別の星へと旅立ちました。

## 「リュウグウのサンプル」

カプセルには5.4gのサンプルがありました。少ないようですが、分析者にとっては大変な量です。将来の分析技術の進化に期待し40%は保管。一部を世界の研究機関に送りました。1年が経ち成果が出始めています。昨夜、電話で聞いた事ですが、7%の水が含まれていることが判明したそうです。7%と言うと少ないように思えますが、地球には0.02%しかありません。

## リュウグウの歴史



岡山大学ではアミノ酸を検出しました。タンパク質はアミノ酸が数珠繋ぎになった物です。そして、タンパク質は生命に必須な物です。「リュウグウ」のサンプルから検出された23種類のアミノ酸の内、10種類がタンパク質を作るものだったそうです。これまでも隕石などから検出されていますが、地球に落下後に混じった物かどうか判明していませんので、宇宙でのアミノ酸は初めてとなります。

(P. 5へ続く)

## ウクライナからの避難民への支援バザー

月日：2022年6月15日（水）

場所：港区立生涯学習センター・グラウンド



TV から流れるウクライナの勇敢で、また言葉に表せないほどの状況にある人々の姿に、心が痛みます。港区立生涯学習センター「ばる～ん」にはグラウンドがあります。通勤の人の流れがあります。会員からの協力も得られるかもしれない。このようなことから「ウクライナからの避難民への支援バザー」を考え、事務局はじめ会員のアドバイスを受けながら、なんとか開催にこぎつけました。

当日は天気も良く、提供された品物もたくさん集まり、売り手の会員スタッフもはりきって下さり、一回目としては予想以上の成果を上げることができました。

アクセサリー・小物コーナーには、なぜか女性だけではなく中年男性が多く立ち寄られ、どうされるのだろうと使い道に想像力を掻き立てられました。また、銘の書かれた箱はいらないと、花瓶だけを持っていかれたり（たしかに良い物は銘の有無は関係ないんですが）、品物から趣味の話に発展したり、お客さんとのやり取りも楽しめました。

バザーは、一つ10円からの少額商品が圧倒的に多かったのですが、購入いただいた延べ人数が非常に多く、今回のバザーによる売上金・募金合計で82,387円となりました。港ユネスコ協会として、今後ユネスコ活動に利用する一部を除いて「日本ユネスコ協会連盟・ウクライナ支援募金」へ送付いたしました。おかげさまで、全国における募金総額は5月31日までの速報値で804件74,401,528円となりました。

また、この他、港ユネスコ協会の催しのチラシを置き、勧誘も行いました。会員の方々、事務局、ばる～んの事務職員・警備員さん、たくさんのご厚意、ご協力ありがとうございました。



中止が続いていた芝公園のみなと区民まつり（10/8・9）やフェスティばる～ん（10/21）が今年は予定され、ここでも各委員会の活動紹介やミニバザーができそうです。皆様のお気持ちがウクライナの人々に届き、ほんの少しでも役立つように願っています。

（副会長 磯部豊子）

## 2022年度 委員会名簿（担当副会長～副委員長）

委員会	担当副会長	担当常任理事		委員長	副委員長
会員開発	小林敬幸	秋山雅代	石井義明	宇都宮和美	
		奥村和子			
広報・インターネット	峰尾茂克	宮下ゆかり		棚橋征一	新福彰二
語学研修	今村孝子	石井義明	田川純子	古市容子	
		宮下ゆかり			
国際学術文化	小林敬幸	奥村和子	佐藤律子	佐藤律子	兼田徳子
		宮下ゆかり			
坐禅体験	磯部豊子	宮下ゆかり		渡部俊子	菊地賢介
世界の料理	今村孝子	奥村和子	古市容子	古市容子	渡部俊子
		松崎加寿子			
日本語スピーチコンテスト	今村孝子	田川純子		田川純子	渡辺貴美子
文化体験教室	磯部豊子	笠原正子	田川純子	笠原正子	
みなと区民まつり等	磯部豊子	笠原正子		磯部豊子	北岡 修
ユース	峰尾茂克	古市容子		横井 彩	児玉 普
総務渉外	森村俊介	奥村和子	佐藤律子	奥村和子	

### MUA 英会話サロンの開始

開催月日：4月3日および6月5日

場所：港ユネスコ協会事務局



この度、MUA内の有志により英語サロンを始めることとなりました。第1回目は4月3日（日）午後1時半から3時まで（左の写真）、参加者4名が「日本の良いところ、悪いところ」をテーマに英語で話し合いをしました。後半はゲーム（Who am I?）および（I spy with my little eye ~）で楽しみ、なごやかな雰囲気にお勧めの温泉地情報も交換しました。

続いて第2回も6月5日（日曜日）の午後1時半から開催し、参加者は5人でした。長引く軍事侵攻が話題に上り、雰囲気は湿りがちに。次回は8月の第1日曜日の開催を予定しています。会員の皆様、お気軽にご参加下さい。

（語学研修委員会 担当常任理事 宮下ゆかり）

## 世界を見よう！みなと UNESCO サロン for SDGs

### 江戸城と東京の近代建築にみる『石文化』 —温泉だけでない箱根・湯河原・熱海から—

講師： 加藤雅喜氏

【湯河原町史編纂委員、元土肥實平顕彰「土肥会」理事、伊能忠敬測量隊湯河原研究会代表、湯河原産「白丁場石」研究会代表、豆相人車鉄道実物保存会代表。中央大学大学院修士課程修了、埼玉県高等学校教員退職後、湯河原に在住】

日時： 2022年7月20日（水） 午後2時～  
会場： 港区立生涯学習センター3階 305室



加藤雅喜氏の第二の人生の地「湯河原」から見てきた「江戸・東京の『石文化』」について伺いました。埼玉での教員生活リタイア後に湯河原へ転居、そこで出会った「歴史の経糸と緯糸の探求」の話の会でもありました。冒頭、田部揆一郎・港ユネスコ協会会長の挨拶と講師紹介。その後、17ページの講師手作り資料を用い、教鞭生活でならした声で始まりました。

#### 「石垣」、「築堤」のニュース

令和三年は、「400年前の家康が築かせた江戸城初期の石垣発掘」、そして「高輪ゲートウェイ駅前で150年前（明治5年）に開通した蒸気機関車の海上築堤の発見」と「石垣」関連のニュースが話題となりました。

#### 江戸城そして台場・鉄道・東京の近代建築へ

小田原、箱根から真鶴、湯河原、熱海、多賀、伊東などの伊豆半島東海岸の石丁場（いしちょうば＝石切場）から「伊豆石」、「小松石」、「白丁場石（しろちょうばいし）」が切り出され重用された。

- ①江戸時代初期＝江戸城石垣、江戸の町埋立ての石は小田原～伊豆半島全体から。
- ②江戸時代後期＝江戸城西の丸焼失の再建工事は、小田原藩だけが引受け。
- ③江戸時代末期＝ペリーの「黒船」来航前から、緊急対応で外国船打ち払いの砲台としての（お）台場の建設で、江戸に近い真鶴～熱海の海岸線から切りだす。
- ④一度も火を噴くことなく開国・幕府崩壊で砲台は不要となり、台場石や大名屋敷の石などは「近代建築」や「鉄道」へ転用される。
- ⑤明治中期～大正末期＝湯河原「白丁場石」が、渋澤栄一の「深谷レンガ」建築の補強隅石や腰高の壁面として使われ、近代建築に貢献した。

#### 東京の近代建築における「白丁場石」

湯河原梅園「幕山」の隣。火山灰が積もり固まった白色の石は、白の御影石ほど重くなく、強くなく、堅くない。粘りがあるから穴を開けても粘質でヒビ割れしにくい。薄く板状に加工するのが容易なので壁面を飾る石として重宝された。海外で西洋建築を学んで来た建築家達は、日本で産出しない大理石に似た石材として利用。日本銀行本店（右の写真）、横浜正金銀行（現：神奈川県立歴史博物館）、上野帝国図書館（現：国際子ども図書館）、復元前の三菱一号館など、多くが関東大震災で壊れたものの、今も見て触れることが出来ます。



研究の背景として「二人の人物研究」が役立ちました。

### 伊能忠敬測量隊

日本地図製作のため測量をした伊能忠敬測量隊「測量日記」を読み解き、湯河原を3回通過したことを知る。1801年：第二次測量で吉浜村名主「向笠家」に宿泊。1816年：土肥実平子孫という門川村名主「富岡家」に第九次測量隊が昼食をとり、土肥一族墓地参拝したことを読み解いた。

令和三年、箱根ジオパークガイドの渡部孟さんの「石切図屏風」についての研究で、「火災で焼失した江戸城西の丸御殿の再建工事の石材は、湯河原吉浜の名主『向笠家』が、小田原藩大久保の殿様に命じられて、海岸へ牛車で運び降ろし、船に乗せて運んだ。」とする論文にあるのは、1838と1839年のことだと、加藤氏が期間を限定された。

### 頼朝を助けた土肥実平（どひのさねひら）

頼朝の旗挙げを助け信頼された「土肥実平夫婦の銅像」は、湯河原町民の誇りで、菩提寺の城願寺が残り、『鎌倉殿の13人』でも話題の土肥実平。実平を顕彰する「土肥会」への協力で、土肥祭・武者行列・「焼亡の舞」等を10年余手伝い、さらに土肥氏子孫の三原小早川氏や、深谷の新開氏から富山・金沢・阿南・横手へという調査は、芭蕉や忠敬の歩んだ道でもあり、それにより「測量日記」の横繋がりの研究ができたといえます。



### むすび

加藤氏が教員時代から開催して来た公開講座のテーマは、私淑していた「旅する芭蕉」。これに「忠敬」を照らし合わせ、湯河原で出会った「実平」も重ねてみると、いずれも第二の人生を懸命に学び生きたことから、加藤氏も自己の第二の人生は「郷土の人物と石文化」を後世に伝えることだ、とお聞きしました。

「歴史の現場に行ってみよう！」歴史の名著を「声を出して読もう！」という現場主義を重視し、その精神で歩き、文献を読み解くという「歴史の経糸・緯糸の歴史観」をリタイヤ後も実践し自己実現されたことに敬服しました。町に働きかけ、「伊能忠敬測量隊」の石碑を3本建立させたことも、歴史を学ぶ次世代に史実を伝えようとする人にとって、大きな成果だと思えます。今後の活躍は、加藤氏のブログでご覧いただけますので検索ください。 検索 「酒場で歴史を語る会」 060636.blog24.fc2.com/

(会員開発委員会 担当副会長 小林敬幸)

## 事務局便り

### 【開催中・募集中の事業】

- ☆日本語講座 田川純子先生 7/9 スタート (土曜日・10:00~11:30) 10回  
☆ビジネス英会話講座 金森尚人先生 7/7 スタート (木曜日・18:30~20:00) 9回  
☆初級英会話講座 中沢萬佐雄先生 開催前 (月曜日・13:30~15:00) 9回  
開催場所：いずれも港区立生涯学習センター3階 港ユネスコ協会事務局内

### 【今後の事業予定】

- ☆9月21日(水) 18:30~20:30「英国と日本 ふたつの国に見る 似ている所 違うところ」  
会場：港区立生涯学習センター305号室、講師：サラ・エミリー・ハリソン氏
- ☆9月24日(土) 13:30~16:00「茶の湯体験教室」  
会場：港区立生涯学習センター203号室、講師：松村宗幸氏
- ☆10月1日(土) 13:30~16:00「書道体験教室」  
会場：港区立生涯学習センター304号室、講師：金田翠夢氏
- ☆10月8日(土) 13:30~15:00「オリジナルペンでポストカードを作ろう!!!」  
会場：港区立生涯学習センター101号室  
講師：鈴木美樹子氏、園田美公氏(株式会社オカモトヤ)
- ☆10月29日(土) 14:00~16:00 第2回国際理解講演会「イタリアオペラの風を感じて」  
会場：港区芝浦 リーブラホール  
講師：渡辺大氏(オペラ・テノール歌手、日本声楽家協会教育センター講師、啓声会運営委員)
- ☆11月19日(土) 13:30~16:00「盆栽体験教室」  
会場：港区立生涯学習センター305号室、講師：川上佳樹氏
- ☆12月3日(土) 13:30~16:00「凧づくりと凧揚げ」  
会場：港区立青山小学校、講師：福岡正巳氏
- ☆12月11日(日) 13:30~16:00「第六回日本語スピーチコンテスト」  
会場：港区芝浦 リーブラホール
- ☆3月11日(土) 13:30~16:00「盆栽体験教室」  
会場：港区立生涯学習センター101号室、講師：川上佳樹氏

### 【40周年記念誌へのご寄付】

★前号以降いただいたご寄付：兼田徳子氏(1万円)、菊地賢介氏、高島功氏、平山耀子氏(以上5千円)、新福彰二氏(3千円)の寄付を頂戴しました。会員の方を中心に29名総額333,000円のご寄付をいただきました。本当にありがとうございました。

### 【編集後記】

先日テレビを見ていたら、臨時速報が流れた。桜島が爆発的な噴火をしたらしいというので、早速、桜島から近い地域に住んでいる両親に電話してみたが、「知らない。」ということだった。「のんきだな。」と思われるかもしれないが、地元民からすれば日常のことではある。私が高校生だったころの40年程前は火山活動が非常に活発であり、登校時、鹿児島中央駅(当時西駅)を出てナポリ通りを歩いていると、すぐ近くでガス爆発が起きたのではないかと思うほどの爆発音がし、まさに肝をつぶしたとはこのことである。桜島港から鹿児島市沿岸まで約4km、そこから高校まで約2km、大きな爆発があると空振で校舎のサッシ窓がバシャバシャバシャと激しく揺れることがあった。宇和島で空振を観測したというから驚きである。大げさではなく5m先が見えないほどの降灰、昼間なのに辺りは真っ暗ということもしばしばであった。私自身が身の危険を感じることはなかったが、当時38回の火山雷、700mに及ぶ火柱が発生するほどの大きな爆発もあり、そうなると桜島の麓の被害は甚大で、直径50~60cmの噴石が構造物に落下、土石流が発生しホテルや民家が被災するなど、目も当てられないような状況もあった。雲仙普賢岳の火砕流、阪神淡路大震災、東日本大震災など代表的な災害を含め大小様々な災害を目の当たりにしてきているが、記憶も意識も薄れるものである。いつ、どこで、どのような災害に見舞われるかわからないということを、せめてこういう機会ごとに思い出したいものである。(新福彰二)

港ユネスコ協会事務局 火曜日~金曜日(祝日を除く) 午前10時~午後5時

〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 TEL: 03(3434)2300 TEL・FAX: 03(3434)2233

Eメール: [m-info@minatounesco.jp](mailto:m-info@minatounesco.jp) ウェブサイト: <https://minato-unesco.jp>

